

第 14 回 KBC 学園杯争奪
第 27 回沖縄県中学校新人軟式野球大会

～ 競技部資料 ～



資料 1 : 競技に関すること (P. 2~P. 5)

資料 2 : マナーチェック実施要項 (P. 6)

沖縄県中学校体育連盟軟式野球専門部

<競技に関すること>

1 球場、練習会場について

球 場			練習会場					
新開球場 『球場長』 ()	開 場	7：30	レフト後方 広場	開 場	9：00 (2試合目のチーム)			
	ブルペン	あり		スパイク	土は可、芝生は不可			
	備 考	第1試合 開始時刻 9：00		打撃練習	バント 1対1のペッパーまで			
				ブルペン	なし			
	備 考							
	使用後の整備をお願いします。							
奥武山公園 多目的広場 『球場長』 ()	開 場	7：30	鏡原中学校	開 場	9：00 (2試合目のチーム)			
	ブルペン	あり		スパイク	可			
	備 考	第1試合 開始時刻 9：00		打撃練習	バント 1対1のペッパーまで			
				ブルペン	あり			
	備 考							
	別種目の大会場の為生徒送迎と荷物の搬入後 駐車はご遠慮ください。(別紙参照)							
吉の浦球場 『球場長』 ()	開 場	7：30	ライト側 グランド	開 場	9：00 (2試合目のチーム)			
	ブルペン	あり		スパイク	不可			
	備 考	第1試合 開始時刻 9：00		打撃練習	バント 1対1のペッパーまで			
				ブルペン	なし			
	備 考							
	使用後の整備をお願いします。							
金武中学校 『球場長』 ()	開 場	7：30	並里区民広場	開 場	9：00 (2試合目のチーム)			
	ブルペン			スパイク	可			
	備 考	第1試合 開始時刻 9：00		打撃練習	バント 1対1のペッパーまで			
				ブルペン	なし			
	備 考							
	使用後の整備をお願いします。							
注意事項	・駐車場に限りがありますので、できる限り乗り合わせでお願いします。							
	・駐車場に限りがありますので、できる限り乗り合わせでお願いします。							

資料1

2 球場内でのアップ

- (1) 第1試合の球場入りは、試合開始90分前より可とする。遅くともオーダー交換時までに行うこと。
- (2) 第1試合の球場内でのアップに限り、チーム統一のTシャツを認めるがオーダー交換のアナウンスとともに試合用ユニフォームに着替えること。
- (3) 芝生保護のため、球場内芝生エリアはスパイクを履いての練習を禁止する。
- (4) 打撃練習はバントまたは1対1のペッパーまでとする。
- (5) 外野ノックはグラスラインより内側（土の部分）から行うこと。
- (6) 第1試合のチームは球場内での練習に登録メンバー以外の部員を入れることができる。但し試合開始45分前（オーダー交換時）には球場内から引き上げること。またサイドノック時のボールボーイはヘルメットを着用する。
- (7) 投球練習の際の捕手（控えの捕手も同様）は、必ず捕手用ヘルメット、スロートガード付きマスク、プロテクター、レガース、ファウルカップを着用すること。また、コーチ1名のブルペン捕手を試合開始までの間許可する。（マスクを着用すること）。
- (8) 球場内練習では、競技で使用する以外の道具を使用することを禁止とする。

例 シャトル、プラスチックボール、サンドボール、ラダー等

3 練習会場でのアップ

- (1) 練習会場の使用は、会場到着後本部席（球場長）に確認をとって練習開始すること。その際、設備面・安全面を考慮し、大会本部が使用についての制限を設ける場合がある。
- (2) 練習会場では、可能な限り競技で使用する道具のみを使用すること。
- (3) 第2試合目以降のチームは球場内（フィールド内）のブルペンは原則使用できない。但し、球場によつては使用が可能な場合もあることから本部に確認をすること。
※ ブルペンがフィールド外にある場合は使用を認める場合もある。

4 オーダーの記入・提出・交換

- (1) 記入
 - ① オーダー用紙は全てフルネームで記入すること。※控え選手もフルネームで記入すること。
 - ② オーダー用紙のポジションの記入は数字で記入すること。
- (2) 提出
 - ① オーダー用紙の提出は、第1試合はオーダー交換の10分前まで、第2試合以降は前試合の3回終了までに本部へ提出すること。
 - ② オーダー用紙は5部提出すること。
- (3) 交換
 - ① 第1試合目のオーダーの交換は、試合開始時刻の45分前とする。
 - ② 第2試合以降のオーダー交換は、前試合の4回終了時に行うこととする。

5 シートノック

- (1) シートノックは、試合開始30分前に後攻側から始める。通告時より5分以内とする。
※ 決勝戦は試合開始35分前、7分以内。
- (2) 投内連携時のみ、投手のマウンド付近のノックは認める。それ以外はファウルグラウンドで待機する。
- (3) 天候等の事情により省略、短縮、またはサイドノックに変更することもある。
※ サイドノックでは、芝生保護のため球場内芝生エリアはスパイクを履いての練習を禁止する。
- (4) 相手チームは、完全にベンチ内で待機すること。
- (5) シートノックの捕手は登録選手が防具を着用して行うこと。補助員の捕手は不可。
- (6) シートノック・サイドノックの補助員は全員ヘルメットを着用させること。
- (7) シートノック時の補助員を、登録外生徒（5名以内）で行ってもよしとするが、ユニフォーム、ヘルメットを着用してのボールの受け渡しに限る。※ボールケースは地面に置かないこと。
- (8) 先攻チームは後攻チームのシートノック終了1分前のアナウンスでベンチ前に整列しノックに備える。

6 用具・装具規定および点検について

- (1) 沖縄県中学校体育連盟軟式野球専門部「用具・装具規定及び運用規定」を遵守すること。
 - ① シューズ・スパイクについては、色の混在を認める。但し、高校野球対応のものとする。
※ 中体連主催の九州大会・全国大会では色の混在は認められない。
 - ② アームスリーブにおいては、サポーターと同様の扱い(医療目的)とし、使用する場合には、アンダーシャツと 同色とし、投手が使用する場合は両袖の長さを揃えるものとする。
※使用する際はオーダー交換時に申し出ること。
 - ③ リストガードの使用に関する規定について
 - 中体連主催大会(夏季野球選手権大会)においては、リストガードの使用は認められないが手袋とリストガードが一体型のものについては使用可。
 - 連盟主催大会においては、リストガードの使用を認める。手袋とリストガードが一体型のものも使用可。
 - ④ サングラスの使用については、医療目的に限り使用を認める。ただし、投手のミラーレンズの使用は認めない。※使用する際はオーダー交換時に申し出ること。
- (2) 各チームとも上記の規定を熟読し、事前に用具点検を確実に行うこと。
- (3) 用具点検は、試合前シートノック時にベンチ待機チームに対して行います。
- (4) ヘルメットは、規定に則ったもの（JSBB、SGマークあり）を最低限8個以上準備すること。
- (5) 点検の際には、ヘルメット、バット、グラブなど用具をベンチ前に並べ、点検に協力すること。

7 試合

- (1) 試合開始のあいさつを終えた後、攻撃側のチームについては打者、次打者、コーチャー以外はベンチ内待機とする。
- (2) 試合中のアップ（キャッチボール）は2組（4名以内）とする。
※攻守交替時に限り、控え選手がファウルグラウンドでの外野方向へランニングすることは認める。
※キャッチボールの際のゴロ捕球は禁止。
- (3) 控え捕手も常に捕手用ヘルメット、スロートガード付きマスク、プロテクター、レガース、ファウル

カップを着用すること。

- (4) 次打者席では、投手が投球に関する動作（サインを見る姿勢）に入ったら速やかにスイングを止め、投球を注視するものとする。※打者、次打者以外の選手が、フィールド内で素振りを行うことは禁止。
- (5) レッグガードとエルボーガードを外すときは速やかにおこなうこと
- (6) ベースコーチ、バットボーイともに、規定のヘルメットを着用すること。
- (7) イニングの攻守交代時にヘルメット、グラブの受け渡しがスムーズに行えるように手配すること。
- (8) 攻撃タイムおよび守備タイムは1分以内で行えるようにすること。
- (9) 4回、7回終了時に、会場補助役員がグラウンド整備を行う。
 - ※ 天候によっては行わない場合もある。
 - ※ 整備終了後の直後に登板する投手に限り、ベンチ前でのキャッチボールは認める。
- (9) 天候および負傷（体調不良も含む）による試合の中止は10分を目安として、出場の可否をチームで判断し、試合を再開できるようにする。

8 応 援

- (1) 攻撃側のチームが優先となる。
- (2) 試合開始の礼が終わり次第、先攻チームの応援優先となる。
- (3) イニング終わりは、審判の3アウトコールである。その直後からが攻撃側の優先応援となる。
- (4) ダッグアウト外からの選手への指示、アドバイスは禁止とする。
- (5) 相手チームへの「やじ」や「走った」等の攻撃側のアンフェアな声かけを禁止とする。
- (6) 投手が投球動作を開始したら、投手の動揺を誘うような声を禁止とする。

9 投球制限

投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、下記の通りとする。

- ・大会中の1日の投球数… 100球
- ・1週間の投球数… 350球

※試合中規定投球数に達した場合、その打者が打撃を完了するか、攻守交代まで投球できる。

マナーチェックの実施について

沖縄県中学校体育連盟軟式野球専門部

1 目的

沖縄県中学校野球選手権大会 大会特別規則10(9)に基づき、学校教育の一環として行われる中体連主催の大会には、中学生らしい服装・マナーで参加させることを目的として、本大会においても参加校登録選手を対象に「マナーチェック」を実施する。

※今大会は接触をさけるため大会役員によるマナーチェックは行いません。各校でチェックして下さい。

2 実施方法

- (1) 各校引率教師が責任をもって「マナーチェック」を実施する。
- (2) 点検項目

項目		チェック基準
1	頭髪	相手校に不快感や威圧感を与えるような <input type="radio"/> 染髪や脱色 <input type="radio"/> そり込みや刈り込み <input type="radio"/> 眉ぞり などをしていないか。
2	爪	競技に危険を及ぼすような <input type="radio"/> 故意に伸ばされた爪 <input type="radio"/> 投手指先へのテapingなどをしていないか。
3	装飾品	競技に支障をきたす（大会取り決め事項に禁止されている）ような <input type="radio"/> 装飾品（ピアス、ネックレス、ミサンガ、リストバンド、リストガード等） を身につけていないか。 ※ チタンプレスレット、ファイティン、ネックレス等の着用は不可。
4	ユニフォーム	全選手が <input type="radio"/> 同色、同型、同意匠のユニフォーム・帽子・アンダーシャツ・ソックス・ オーバーストッキングを着用しているか。 ※ オーバーストッキングは長さ（ローカット、ミドルカット等）を統一したものを着用すること。カラーソックスは不可。 ※ シューズ・スパイクについては色の混在を認める。但し、高校野球対応のものとする。 (注) 中体連主催の九州大会・全国大会では色の混在は認められない。

※ 大会2日目以降についても、マナーに関する決まりを守ること。